

消防ポンプ自動車購入仕様書

令和 7 年度

赤磐市消防本部

1 総則

- (1) この仕様書は、赤磐市消防本部（以下「当本部」という。）が購入する消防ポンプ自動車（CD - I 型）（以下「車両」という。）の製作に関する一切に適用する。
- (2) 車両の製作は、この仕様書および製作承認図等（契約後受注者にて製作すること。）によるほか、市町村消防設備整備費補助金交付要綱並びに補助金等の関係法令に従うこと。
- (3) 本仕様書に定めるほか、動力消防ポンプの技術上の規格を定める省令（昭和 61 年 10 月 15 日自治省令第 24 号）、道路運送車両法（昭和 26 年法律第 185 号）及び道路運送車両の保安基準（昭和 26 年運輸省令第 67 号）に適合し、日本消防検定協会及び中国運輸局岡山運輸支局の検査に合格し、新規登録手続きを完了し、緊急自動車としての承認が得られたものであること。
- (4) 受注者は、消防用車両の安全基準検討委員会が定める「消防用車両の安全基準について」の項目を満足し、品質確保、環境対策の配慮から ISO 認証取得による品質環境管理システムによって製造が行われていること。
- (5) 受注者は、契約にあたりこの仕様書を了承し、不審な点については、当本部担当員に質問し十分に熟知した上で契約すること。
- (6) 受注者は、契約後仕様書詳細について当本部担当員と打合せを行い、製作承認図等を当本部に提出し、承認を得て製作に着手すること。
- (7) 受注者は、契約後製作にあたりこの仕様書に疑問が生じた場合は、当本部担当員に連絡の上承認または指示を受けること。
- (8) 受注者は、製作にあたりこの仕様書を変更する必要がある場合には、当本部担当員と打合せの上、変更承認図を提出し、承認を得ること。
- (9) 受注者は、製作全般にわたり厳重な検査を実施すること。
- (10) 受注者は、設計、製作、材料、部品等に関し、特許その他権利上の問題が発生した場合には、その責任を負うこと。
- (11) 受注者は、製作工程表に基づき、次の検査を受けること。
 - ア 艤装中間検査（当本部が適当と判断する時期に受注者製作工場にて当本部担当者立会いのもと実施）
 - イ 完成検査（当本部が適当と判断する時期に当本部指定場所にて実施。完成車重量測定検査を実施。）
- (12) 納期は、次のとおりとする。
 - ア 納 期 : 令和 9 年 3 月 31 日（水）
車両納入時期等が遅れる場合は担当者と上記納期を調整すること。
 - イ 納入場所 : 新規検査および新規登録を受け、当本部に納入すること。
 - ウ 登録諸費用 : 登録に関する一切の経費については受注者が負担する。
但し、自動車登録手数料、自動車重量税、自動車損害賠償責任

保険料およびリサイクル料金は、当本部が負担する。

- エ 消費税率 : 本契約の消費税率は、１０パーセントとする。
- オ その他 : 平成１８年３月登録の消防ポンプ自動車「岡山８００す ２７－３９」は、下取り後完全抹消登録、重量税の還付金及び自賠責保険料の払戻金の手続きは受注者が行い、登録にかかる書類を本市に提出すること。

また、上記の車両について国または県から提供希望があった場合、国際貢献活動の一環として車両提供を行うため、下取り車両はないものとする。

２ 提出書類

- (１) 受注者は、契約後次の書類を２部提出すること。
- ア 製作工程表
 - イ 製作承認図（外観５面図、ボックス内艤装図、キャブ内配置図）
- (２) 受注者は、納入時に次の書類を２部提出すること。
- ア 完成図面
 - イ 電気配線図
 - ウ 配管図
 - エ ポンプ取扱説明書
 - オ パーツリスト
 - カ 車両取扱説明書
 - キ ポンプ性能試験成績表
 - ク 受託評価の品質評価合格プレート写し
 - ケ 日本消防設備安全センターによる性能評定書写し
 - コ 転覆角度計算書
 - サ 初回車検までにかかる法定点検等の費用一覧表
 - シ 製作工程写真
 - ス 別途当本部が必要とする書類

３ 概要

本車両は、下記のシャシにタービンポンプ又は、ボリュートポンプ、６００Ｌ以上のＦＲＰ製又はステンレス製水槽、後部に機材収納庫、ホースカーを装備し、水槽、河川、消火栓等の水利より強力な放水をなし一般火災に対し速やかに活動出来るものとする。

４ 使用シャシ

(1)	型式	:	3 t 級消防専用ダブルキャブオーバー型
(2)	駆動方式	:	4WD (パートタイム式)
(3)	トランスミッション	:	オートマチックトランスミッション
(4)	ホイールベース	:	2, 750mm～2, 800mm
(5)	乗車人員	:	5名 (前部2名、後部3名)
(6)	検定出力	:	100kW以上
(7)	P T O	:	水ポンプ用P T O
(8)	バッテリー	:	130E41型 100AH以上 2個
(9)	オルタネータ	:	24V－80A以上
(10)	オイルパンヒーター	:	キャブタイヤコード 15m 1本付き
(11)	チルト装置	:	電動油圧式 (故障時に手動操作可能なもの)
(12)	エアコン	:	純正品
(13)	オーディオ	:	CD、USB付ラジオ (内外切り替えスイッチ付)
(14)	オールシーズンタイヤ	:	205／85R16
(15)	キャブ内シート	:	純正品
(16)	泥除けたれゴム	:	全輪
(17)	オールシーズンタイヤ	:	スペアタイヤ1本 (ホイール付き)
(18)	フロアマット	:	前後席1式
(19)	オイルジャッキ	:	1式
(20)	標準工具	:	1式
(21)	非常信号灯	:	1式
(22)	タイヤチェーン	:	シングル用 1式 (オールシーズンタイヤ用)
(23)	停止表示板	:	1式
(24)	A B S 装置	:	1式
(25)	助手席側パワーミラー	:	1式
(26)	ナンバーフレーム	:	前後1式
(27)	サイドバイザー	:	前後ドア1式
(28)	サンバイザー	:	運転席・助手席1式
(29)	フロントバンパー張り出し	:	1式
(30)	フォグランプ取付	:	1式 (フロントバンパー埋め込み式: LED白色)
(31)	ドアスイッチ追加取付	:	1式 (後部ドア用)
(32)	フロントグリルメッキ	:	1式

5 水ポンプ装置

- (1) 水ポンプ (日本消防検定協会による受託評価の品質評価適合品)
ポンプ性能 A-2 級

- (2) 水ポンプは、シャシエンジンの P.T.O (パワーテイクオフ) により駆動され、P.T.O の操作は運転席に設けられたスイッチにより行うものとする。
- (3) 材質は、本体及びインペラをアルミ製または鋳物製とする。ただし、インペラについては砂利等の混入にも対応できるよう防錆・防食特殊コーティングを施したものとする。
- (4) グランド部は完全メンテナンスフリーメカニカルシールとし、主ポンプの空運転に対応するための冷却機構を設けること。
- (5) 収納スペースを確保できるよう水ポンプを設置する。
- (6) 振動によって緩みのおこらないようにシャシフレームに確実に取り付け、特にエンジンの振動等の影響による支障がないように留意すること。

6 真空ポンプ

- (1) 無給油式真空ポンプとする。
- (2) 操作は押ボタン式スイッチによるものとし駆動装置は円滑に作動し揚水完了後は自動的に停止すること。また、真空ポンプの誤操作防止のために、色分けをすること。作動ボタンを緑、停止ボタンを赤とする。尚、非常用の別系統スイッチを車両右側に設けるものとする。
- (3) 真空性能は、吸管外端閉塞にて 30 秒以内に大気圧の 84 % とする。

7 安全機能付ポンプ操作装置

ポンプ操作装置は車体左右に設け、操作員が容易に且つ安全にポンプ操作が行える様、次の機能又は同等の機能を有するものとする。

- (1) 圧力計・連成計（リタード式）はブルドン管式（LED バックライト）とし振動等でも針振れがない構造とする。
- (2) ポンプスロットルは電子式スロットルとし左右どちらでも同方向に回転することによってエンジン回転速度を上げ下げできるものとする。
- (3) 多目的表示液晶ディスプレイは自動調光機能付の 7 インチ以上とし、詳細は以下のとおりとする。

ア 取り扱い表示（機器取扱・点検整備・故障対策等を文章で表示ができること。）

イ モニタ表示（警報ブザーが鳴るようにすること。また、各ボールロックの開閉状況、タンク水の残量、揚水・放水及び冷却水の循環の状況確認ができ、ポンプ回転計・ポンプ圧力計・ポンプ連成計を各々デジタル数値により表示ができること。）

ウ 流水表示（ポンプの運転状況及び放水時における水の流れる状況が把握できる流水表示ができること。）

エ 流量・積算表示（流量範囲によって表示色が変化すること。また、積算量もデジタル数値により表示ができること。）

- オ 一定の問題が発生した場合は、液晶ディスプレイにエラー情報を表示すること。
- カ 各メーカーの仕様とし、当本部と協議し承認を得ること。

- (4) 各操作は手袋装着時でも確実に操作が行えるよう液晶ディスプレイ連動のパネルスイッチにより行えるものとする。
- (5) ポンプ操作装置には隊員の安全を確保する為、次の安全機能を設ける。

ア 自動調圧機能

機関員の負担を軽減する為、自動調圧装置を設けるものとし手動にて任意の圧力に上昇させた時点で設定する方法と、予め設定された設定圧力をワンタッチにより選択する操作方法が併用できる構造とすること。自動調圧機能の解除については、スロットル操作を行った場合自動的に解除される構造とするとともに、ワンタッチにて解除も可能な構造とすること。

イ 高圧中継警報

自動調圧中に中継圧力が高くエンジン回転数をアイドリングまで下げても設定圧まで下げられない時、ブザー音と共に液晶ディスプレイ内に高圧中継警告表示が点滅すること。

ウ 低圧中継警報

中継水量が不足している時、ブザー音と共に液晶ディスプレイ内に低圧中継警告表示が点滅すること。

エ 上限圧力設定機能

設定圧力を超えると設定圧力以下になる様にエンジン回転をコントロールすること。

8 吸水口

吸水口は、消防呼称 75mmボールコック（ストレーナ付）とし車両両側のシャッター内に各 1 個設け、右側は吸口エルボ（TS-3053 らくらく 45°）にて常時接続構造とする。（連続呼水装置付き）レバーは左右とも前方向で開とする。

9 放水口

放水口は、消防呼称 65mmボールコックとし車両両側に各 2 個設ける。レバーは左右とも前方向で開とする。

10 中継口

中継口は、消防呼称 65mmボールコックとし、車両両側に各 1 個設ける。レバーは左右とも前方向で開とする。

11 水槽

水槽は600L以上のFRP製又はステンレス製の水槽とし、振動及び衝撃等により損傷及び緩み等を生じないように車台に固定し設置すること。なお、水槽上部にはマンホール、内部には水の動揺を防止する有効な防波板を設けること。

1.2 冷却装置

冷却水は2系統とし、それぞれに操作バルブ、清掃が容易に出来るストレーナ及び、通水が目視できるカップを設けること。

1.3 キャブの構造

- (1) キャブは、シャシ固有の鋼板製ダブルキャブオーバー型とし、電動油圧チルト装置を設け、必要により補強し落下防止の支え棒等を設けること。
- (2) キャブ内は活動し易く及び車上に積載する三連梯子の仕様を変えることないようキャブルーフはハイルーフとし可能な限り高さを確保し居住性に優れた構造とすること。
- (3) 赤色警光灯はキャブ一体型とし、サイレン、スピーカーを設け、キャブ内の静穏性を図ること。
- (4) キャブ後部は空気呼吸器が積載できるよう約170mm程度張り出し、空気呼吸器取り付け装置（クイックホルダー）を3基分設けること。また、面体掛け用フックも空気呼吸器取り付け装置の横へ各個に設けること。
- (5) インバータ装置を設け100V電源が使用できるコンセントをセンターコンソール付近に設けること。
- (6) 助手席フロントピラー及び後部座席Bピラーにマップランプ（LED）を設ける。
- (7) 左右に無線送話器及び無線スピーカーの収納ボックスを設けること。大きさは、別途打ち合わせのこと。
- (8) 座席は耐久性の高い防汚カバーで覆うこと。
- (9) 乗降用の手摺をキャブの両側面に設けること。
- (10) 乗車人員の走行時における安全に必要な握り棒、手摺及び安全帯を設けること。
- (11) 前席と後席の間に手摺を設け、物掛けフックを5個設けること。
- (12) 地図等を収納するボックス（A3サイズ）をキャブ内中央手摺に1個設けること。
- (13) 電子サイレンアンプ、スイッチ類等は、前席上部若しくはダッシュボード内に取り付けること。前席上部に取り付けの場合、マイクジャックをダッシュボード付近に設けること。
- (14) 赤色点滅灯をキャブ前面に2個取り付け、スイッチは赤色警光灯と連動すること。

- (15) キャビン内天井にはLED灯を設けること。
- (16) バッテリーは引き出し式にて容易に点検できること。
- (17) バッテリー管理器を設けること。
- (18) バッテリーメインスイッチを設け、艀装関係の電源も切れること。
- (19) 消防署マークを車両前面中央に取付けること。
- (20) フロントガラス中央付近の有効な場所にドライブレコーダーを設置すること。
- (21) キャブ内バックミラーをモニタに改造し、ドライブレコーダー及びバックアイカメラを同時に表示し常時監視できる装置を設置すること。
- (22) ETCの車載機を（セットアップ含む）設置すること。
- (23) 運転席等でシャッター及び開閉扉の開閉状態が確認できる装置を取り付けること。
- (24) 後退警報ブザーをスイッチ付きで設けること。
- (25) 展開ステップ側面赤色点滅灯を取り付けること。スイッチはステップ展開に連動して作動すること。
- (26) キャブ内の運転席及び助手席から見えやすい位置に車両の高さ及び幅を記載すること。

1 4 車両の構造

- (1) 艀装は総合的な重量軽減、車両重量のバランスを考慮して製作する。
- (2) 車両の重要な点検箇所および主要な部分の点検整備に関して、工具類を使用する為のスペースを確保すると共に、必要箇所には点検口または点検扉を設ける。
- (3) 車両側板は一般構造用圧延鋼材（SS）を使用し、車体天井、各ステップはアルミ縞板を使用すること。
- (4) 車体の構造は、両側面各1面・後面1面のシャッターを設けたオールシャッター構造とする
- (5) 車両右側に前方に二重撒きホースを置ける収納庫を設け、後方は吸管巻きの中央に消火栓開閉金具及びスタンドパイプ等を設置できる固定装置を設けること。（別途協議）
- (6) 車両左側は前方に二重撒きホースを置ける収納庫を設け、後方はボックスを置ける収納棚を設けること。（別途協議）
- (7) 車体前方下部左右に各1枚の乗降性の高いサイドステップを設けること。
- (8) 運転席ドア昇降用ステップ付近に、オイルパンヒーターとバッテリー管理器を兼用するマグネットコンセントを設置する。尚、オイルパンヒーターのON/OFFスイッチをコンセント付近に設けること。
- (9) ポンプ室は点検手入れが容易に行える構造とする。
- (10) 吐出口・吸水口・中継口・水槽補給口は、車体側面左右に設けること。
- (11) 各収納ボックス内床板には、樹脂製スノコ板等を敷くこと。

- (12) 各収納ボックス内には開閉と連動するＬＥＤ照明を設けること。
- (13) 車体後面にはシャッターを設け、その内部にはホースカーと資器材収納スペース及び予備ボンベ格納棚とし、予備ボンベ格納棚は４．７ℓ ボンベ４本格納可能なもの、収納スペースは別途協議し設置するもの。
- (14) 車体後面にホースカーを積載すること。車体への固定は油圧装置を使用し取付け取外しが容易にできるものとする。また、非常時には、手動にて昇降できる手動昇降装置を設けること。
- (15) 車体上部左右に、ＬＥＤ作業灯を各２個取り付けること。
- (16) ボディ後部へＬＥＤ作業灯を左右各１個取付ける。
- (17) 車体後部右側へ昇降用の折り畳み式アルミ合金製梯子を取り付けること。
- (18) 使用時以外は、留具に収まる構造とし、走行中の衝撃に十分耐え得るよう取り付けること。梯子横さんの踏み面には、滑り止め加工を施す
- (19) 車体後面には、バックアイカメラを取り付け、上部にカバーを設けること。車内のドライブレコーダーと連動させ車内モニタに同時表示し常時監視を出来るように設定すること。
- (20) 車体天井に積載はしご昇降装置を設け、地上から操作できるよう引出転回式とする。
- (21) 車体天井にネジ式の予備吸管（２．５ｍ）４本積載し落下しないように措置を講じ予備吸管を保護するカバーを設けること。（別途協議）
- (22) とび口は積載はしご昇降装置と連動して降りてくる構造とする。
- (23) ボディ上部に取り外し可能な最大限の大きさのアルミ製収納ボックスを設ける。
- (24) ボディ天井部右前方に高さ調節ができ向きを変えることができるＬＥＤサーチライトを１個設けること。
- (25) キャブ前面及びボディ後面上部左右にＬＥＤ警告灯を各１個設ける。
- (26) 車体後端左右に後端灯を取り付け後輪前方ステップ下部に路肩灯（ＬＥＤ）を取り付ける。
- (27) 灯火類の破損の恐れのある箇所についてはステンレス製保護枠を設ける。ただし、灯火規制にかかる部分は不要とする。
- (28) ボディ左側に不凍液注入装置を２系統で設置すること。
- (29) 燃料タンクはシャシ固有の位置に取付け、油種及びタンク容量を記載すること。
- (30) ボディ前方上部左右の視認し易い位置に、標識灯を設置する。
- (31) 牽引フックを車両前後部に設ける。
- (32) 車体後部ステップは斜めに切り上げ、デパーチャーアングルを確保すること。
- (33) 各操作部（ハンドル、レバー、スイッチ等）には、名称および操作方法等を明記すること。

(34) 次の積載品を、操作し易い位置へ、取り付け装置を設けて取り付けること。(取付場所については別途協議)

- ア 消火栓開閉金具 1本
- イ 吸管スパナ 2本
- ウ 金テコ 1本
- エ 剣先スコップ 1本
- オ 車輪止(ゴム製) 2個
- カ 消火器(ABC粉末20型) 1本
- キ スタンドパイプ(YONE PS-65) 1本
- ク ホース背負い器 2個

(35) 次の積載品を、適当な位置へ積載すること。

- ア 吸管枕木 2個
- イ ポンプ工具 1式
- ウ ホース(65mm、40mm)
- エ 斧 1本
- オ 掛矢 1本
- カ 防火水槽開閉金具 2本

1.5 塗装

- (1) 車両は充分錆落としの上、プライマー、パテ、サフェーサーにより下地処理を行い、充分乾燥させ赤色塗装により3コート、1ベークの塗装を行う。塗料はVOC(揮発性有機化合物)削減、環境負荷物質(鉛など)を一切含んでいない環境を考慮したハイソリッドウレタン塗料を使用すること。
- (2) アルミシャッター部、アルミ縞板は、赤色塗装とすること。
- (3) ボックス内、下回りはアンダーコーティング塗装とすること。
- (4) 車両デザインは当本部と別途協議すること。

1.6 記入文字(別途協議)

- (1) キャブ側面(別途協議)
 - ア 車両の左側から「赤磐市消防署」と記入
 - イ 運転席及び助手席のドア前方下部に「8」と記入
 - ウ 書体丸ゴシック体
 - エ 文字白色(反射式テープ)
 - オ 「赤磐市消防署」の文字の大きさ概ね150mm×150mm
 - カ 「8」の文字の大きさはおおむね100mm×100mm
- (2) キャブ上面

ア 対空表示 「あかいわ 8」

イ 書体丸ゴシック体

ウ 文字白色（反射式テープ）

エ 大きさ

文字の大きさは、横 400mm 縦 500mm 文字間 50mm とする上段に「あかいわ」、下段に「8」を、上下段の間隔を 100mm とし記入すること。

オ 文字の太さ 60～100mm 程度

(3) 標識灯

ア 文字「赤磐 8」

イ 書体丸ゴシック体

ウ 文字黒色

(4) 現あかいわ 8 の「8」を「5」に変更する。書体、文字色及び大きさは現あかいわ 8 と同じとする。

1.7 車両運用端末装置

(1) 現在使用の車両運用端末装置及び配線等一式を現あかいわ 8 から取外し、当該車両に移設すること。また、現あかいわ 5（CD・I）から取外し、現あかいわ 8 へ移設すること。なお、移設する車両運用端末装置の構成機器の概要は以下のとおり。

ア 電源関連装置

電源コントロールユニット、電圧監視装置、電源スイッチ

イ LTE 外付けアンテナ

ウ GPS ユニット

エ 小型車両 I F - B O X

オ NEC 車両運用端末装置一式

カ CAR 接続ケーブル

キ 車外設定端末装置

(2) 基本的に旧車両の位置に準ずることとするが、運用に当たっての操作性・利便性、他の機器の操作に係る障害等を十分に考慮し、当本部の担当課（警防課）指示により取り付け場所を決定し、走行等の振動による緩み、ガタツキが生じないよう堅牢に取り付けること。車外設定端末装置はポンプ操作面側の無線機送話器ボックス内に取り付けること。

(3) 電源はエンジンスイッチ A C C 及び O N に連動し通電すること。

1.8 その他

(1) この仕様書中の資機材等で、商品名が記載されているものについては、本指定又はこれと同等以上の性能を有するものを納品すること。ただし、指定品以外の資機

材を納入しようとする場合には、事前に当本部の担当課（警防課）に確認し承認を得ること。また、担当課が必要と判断した場合は、該当資機材及び資料等の提出に応じることとする。

- (2) 附属品及び資機材（艀装附属機器等）の積載場所については、別途協議を行い詳細な打ち合わせを行う。
- (3) 受注者は、納入後の装備品等の取り扱いに伴う指導を、当本部と協議の上、2日以上実施すること。
- (4) 本仕様書の記載内容について、艀装等の改善及び新たな疑義等が発生した場合、または変更の必要を認めたときは、直ちに当本部に連絡し、協議を行い指示に従うこと。
- (5) 入札に記載の「入札金額」は、別紙（入札内訳書）に記載される「入札価格⑦」と同額とし、入札書に添付すること。なお、入札金額と入札価格が同額でない場合は無効とする。自動車重量税、自賠責保険料（25ヵ月）、リサイクル手数料は、別途支払うので、入札内訳書の参考資料欄に記入すること。
- (6) 議決を要する契約となり、議決を経たときから本契約の効力が生じるものとし、それまでの間は仮契約とする。仮契約締結後、議会の議決までに入札参加条件を満たさなくなったとき又は指名停止措置等（岡山県内の他の地方公共団体の措置を含む。）を受けたときは落札決定を取り消し、契約を締結しないものとする。

機 器 等 装 付 機 器 等

1 シャシ関係

整理番号	品名等	数量	備考
1-1	消防専用シャシ	1	
1-2	バッテリー	2	130E41 型 100AH 以上
1-3	バッテリー引出装置	1 式	
1-4	エアコン	1 式	
1-5	サンバイザー	2	
1-6	真空ポンプ手動装置	1 式	
1-7	停止表示板	1 式	載せ替え
1-8	牽引用フック	2	
1-9	車両泥除けマット	4	ゴム製
1-10	アワーメーター	1	
1-11	エゼクター装置	1 式	
1-12	ポンプ上収納ボックス	1 式	20ℓ ポリタンク×3 本、山火事用資器材 収納可能（別途協議）
1-13	車両後面シャッター	1 式	シャッター内、ホースカー、資器材収納 スペース、予備ボンベ格納棚（4.7ℓ ボン ベ 4 本収納）
1-14	空気呼吸器取り付け金具	1 式	キャビン内部後部（クイックホルダー式3基）
1-15	各ボックス内照明	1 式	扉開閉自動点滅スイッチ付（LED）
1-16	車両用照明灯（計器灯含む）	7	LED
1-17	文字記入	1 式	「赤磐市消防署」「赤磐 8」「あかいわ 8」
1-18	ダッシュボード上書類入れ	1	A4 サイズ・落下防止
1-19	後部座シート改造	1	上下落とし込み式（背もたれ）
1-20	車内握り棒	1	前座席シート後部設置
1-21	キャブバック改造	1 式	呼吸器 3 基・面体取付用フック 6 個
1-22	ヒューズボックス	1 式	
1-23	乗降用握り棒	6	
1-24	整備把手	1 式	
1-25	LEDヘッドライト	1 式	
1-26	室内蛍光灯	1	キャビン内天井 LED

2 取付品及び取付装置

整理番号	品名等	数量	備考
2-1	ポンプ圧力計	2	耐震型 LEDバックライト付
2-2	ポンプ連成計	2	耐震型 LEDバックライト付
2-3	エンジン回転計	1	
2-4	エンジン油温計	1	
2-5	赤色警光灯（キャビン上）	1	LED
2-6	電子サイレン	1	マイク付 音声合成式

2-7	後退警報機	1	
2-8	照明灯	1	Koito LED ワーキングランプ角型タイプ
2-9	標識灯	2	左右各 1 個
2-10	消防用無線電話装置	1 式	既存品移設 (取付位置要協議)
2-11	車輛動態監視装置(AVM)	1 式	既存品移設 (取付位置要協議)
2-12	放送設備	1 式	2-6 電子サイレン同一型 SDカード仕様 (mp3 再生) 広報用音声合成入力 (内容は別途指示)
2-13	ドライブレコーダー	1	録画フルHD200 万画素以上 モニター付 メモリー 64GB 以上 前後撮影・広角撮影・明暗時にも鮮明に撮影できる物
2-14	バックモニター	1	モニターは運転者が視認容易な物
2-15	バックアイカメラ	1	ドライブレコーダーと連動可能な物
2-16	ETC	1	

3 軽微な変更として備えることができる取付品及び取付装置

整理番号	品名等	数量	備考
3-1	モーターサイレン	1	赤色警光灯一体型
3-2	ポンプ回転計	2	
3-3	流量計	2	
3-4	積算流量計	1	
3-5	キャブチルト装置	1 式	電動油圧式
3-6	オイルパンヒーター	1 式	メタルコンセント雄キャップ 付 キャブタイヤコード 雌 15m 付
3-7	不凍液注入装置	1 式	カプラー付
3-8	車外無線送話機取出口	1 式	外部スピーカー付 左右各×1
3-9	自動揚水装置	1 式	モニター付
3-10	前部赤色警光灯	2	LED
3-11	後部赤色警光灯	2	ガード付・LED

4 備えなければならない付属品

整理番号	品名等	数量	備考
4-1	吸管	2	超軽量 75mm×10m ネジ式棒吸管 75mm×2.5m(4 本)
4-2	吸口ストレーナー	2	
4-3	吸管ストレーナー	2	ストカゴセット フック付きロープ
4-4	吸管ちりよけ籠	2	ストカゴ付属品
4-5	吸管枕木	2	ゴム製
4-6	吸管ロープ	2	ストカゴ付属品
4-7	吸管引き上げ金具 (消火栓金具)	2	YONE PR-75(マジックバンド付)
4-8	中継用媒介金具	2	YONE 呼び 65 ネジメス×差込メス
4-9	消火栓開閉金具	1	地下式
4-10	吸管スパナ	2	
4-11	管そう	4	YONE PP-65A・EXS・L
4-12	ノズル	4	YONE NV65W・II

4-13	放口媒介金具	2	標準型
4-14		2	スイベル型
4-15	とび口	2	グラスファイバー製
4-16	金てこ	1	1.0m
4-17	剣先スコップ	1	1.0m
4-18	手動ホースカー	1	カノー式ホースカー
4-19	三連梯子	1	関東ばしご（ステンレス製）
4-20	車輪止	2	ゴム製
4-21	消火器	1	ABC 粉末 20 型
4-22	ポンプ工具	1 式	
4-23	空気呼吸器(鳴動点 6 M p a)	3	重松製作所 A1-12 4.7ℓ ボンベなし（ボンベカバー上下、 面体保護シール及び収納袋付）
4-24	面体	1	S サイズ（旧 8 号車から載せ替え）

5 軽微な変更として備えることができる付属品

整理番号	品名等	数量	備考
5-1	タイヤチェーン	1 式	オールシーズンタイヤ用
5-2	分岐管	4	YONE WB-65・65 送水側 65mm 放水側 65mm2 口（載せ替え） WB-65・40 送水側 65mm 放水側 40mm2 口を各 2（旧 5 号車から載せ替え）
5-3	ホースブリッジ	2 組	大阪サイレン CB450（ゴム製 2 枚 1 組×2）
5-4	ホース背負器	2	アルミ製 2 本用（旧 5 号車から載せ替え）
5-5	大斧	1	
5-6	掛矢	1	
5-7	消火栓スタンド	1	YONE PS-65

6 その他の積載品及び付属品

整理番号	品名等	数量	備考
6-1	消防章	1	クロームメッキ 150mm
6-2	携帯用拡声器	1	
6-3	同径媒介金具	2	同径 65 雄々×1 同径 65 雌々×1（旧 5 号車から載せ替え）
6-4	異径媒介金具	2	異径 65×40 （旧 5 号車から載せ替え）
6-5	マップランプ	3	助手席×1 後部席×2 （LED）
6-6	非常信号器具	2	LED
6-7	中継口ストレーナー	2	
6-8	ラインプロポーションナー	1	YONE:FP-65・400
6-9	発泡ノズル	1	LX フォームジェット（載せ替え）
6-10	万能斧	2	トップマン
6-11	ホースバンド	4	漏水止バンド（HB-100）×2 漏水止バンド兼用(OH-1)×2
6-12	ウォーターチャージャー	1	PC-65（旧 5 号車から載せ替え）

6-13	ファイヤーハンター	4	FH-01
6-14	携帯警報機	3	モーションスカウト
6-15	のこぎり	2	(旧 5 号車から載せ替え)
6-16	なた鎌	4	(旧 5 号車から載せ替え)
6-17	ボルトクリッパー	1	600mm
6-18	車両工具	1 式	
6-19	車両ジャッキ	1	10t 以上
6-20	スノコ板	各ボックス	樹脂製
6-21	車両マット	1 式	ゴム製
6-22	救助用縛帯	1	ピタゴール
6-23	カラビナ	10	村上式
6-24	強力ライト	2	ストリームライトサバイバー
6-25	S 字フック	5	ビニール被覆有
6-26	路肩灯	2	左右後輪前部
6-27	スイッチボックス	1	サイレン用
6-28	図面収納箱	1	キャビン内
6-29	梯子ダンパー	1 式	
6-30	ディスクストレナー	1	D75S
6-31	充電器	1	ずぼら充電器
6-32	マンホール蓋開閉器	1	(旧 5 号車から載せ替え)
6-33	PORTABLE SCENE LIGHT	1	ストリームライト EA758SJ-10

※製品名を指名しているものについても同等の性能を有している物にて代替え可能であれば別途協議するもの。